

「あすなろ」便り

No.115

2018. 11

発行：ミナクルあすなろの家

TEL:046-254-2005

* 福祉祭りバザー

9月17日(月)に福祉大会及び福祉祭りが行われ、「ミナクルあすなろの家」として、バザー部門で参加しました。物品は主に手作り品や雑貨物を並べました。手作り品はスタッフが得意分野で、バッグ・布草履・ペットボトルカバー・ペンケース・皮革小物等出品しました。当日は晴れて気温も上がって暑い日でした。お客さんの流れもそこそここでしたが、少しずつ売れました。自宅で採れた、すだちや野菜の空芯菜はすぐに売れました。やはり、食べ物はニーズが高くもっと持ってくれば良かったのかと思いました。

スタッフは朝早くから準備販売片付けの作業をこなして、午後3時には終了しました。この時の収入は、あすなろの活動として使わせて頂きます。有難うございました。

* ソロプチミスト日本財団から「社会ボランティア賞」を受賞

この度、ソロプチミスト日本財団から平成30年度「社会ボランティア賞」を受賞することになりました。

ソロプチミスト日本財団は、ソロプチミストの精神に則り、さまざまな奉仕活動に対する援助、協力を行うことにより、より豊かな生活の実現及び国際相互理解の促進に寄与することを目的としています。事業としては、女性の人権の尊重並びに地位向上を目的とする活動への顕彰及び支援をしたり、男女共同参画社会の推進活動や青少年の健全育成活動の支援等を実施しています。

平成30年11月13日 ソロプチミスト日本財団平成30年 年次贈呈式が仙台国際センターにおいて、行われました。当日は午前中式場で綿密なりハーサルがあり緊張感に包まれました。12時から、用意された部屋で昼食会がありテーブル毎に情報交換が行われました。そして午後1時30分より開会式及び贈呈式が行われました。式場の壇上でソロプチミスト日本財団の理事長の千 容子氏より表彰状を頂き感無量の気持ちがこみ上げました。あすなろの事業での16年間のさまざまな思いが報われたようなひと時でした。また、前日から「ソロプチミスト座間」の方々が全てサポートをして下さって身に余る思いで感謝感激の二日間でした。有難うございました。

この気持ちを忘れずに、不登校やひきこもりの青少年達のために、安心して居られる居場所の提供をして子ども達や青少年達の社会参加に向けて活動を続けていきたいと思ひます。

